

17 ライフラインの大切さ

ライフラインとは、電気、ガス、上・下水道、電話、交通、通信などの日常生活を支えるシステムのことで、私たちの生活の基盤となる生命線です。電気、ガス、水道といったライフラインは大災害発生直後は停止し、利用が困難になります。交通網が麻痺すれば、公的な支援物資もすぐに届くとは限りません。コンビニエンスストア等のお店にも人が殺到し、商品がすぐ無くなる可能性もあります。電話やインターネットが利用できなくなったら家族と連絡が取れなかったり、情報収集が困難になったりもします。ライフラインが停止してしまうとどんなことが困るか話し合ってみましょう。

電気・ガス



上・下水道



電話・通信



交通



1995年の阪神淡路大震災、2011年の東日本大震災での、各ライフラインの復旧までの日数は図のようになっています。電気が一番早く数日で復旧し、次いで水道が、

	電気・ガス・水道が復旧するまでの日数	
	東日本大震災 (2011年3月11日)	阪神淡路大震災 (1995年1月17日)
電気	6日	2日
水道	24日	37日
ガス	34日	61日

最後にガスが復旧するという順番になっています。災害持ち出し袋と併せて、各ライフラインに対する備えが必要となってきます。

ライフライン	困ること、できなくなること	代わりに何を使うか考えよう
電気・ガス		
上・下水道		
電話・通信		
交通		
給水車に並ぶ		
商業施設に並ぶ		

【日常の備え】 (①どんな物を用意した方がよいか ②自分の家はどうなっているか)

1. 電気

①	②
---	---

2. 水道

①	②
---	---

3. ガス (復旧が遅れることも考慮する)

①	②
---	---

4. その他

①	②
---	---

【使い水について】

飲み水はもちろん大切ですが、お風呂、トイレ、洗濯、手洗い・うがい、洗顔等様々な場面で『使い水』が必要とされます。空のペットボトルに水道水を入れて物置や倉庫等に保管しておくことによって、いざというときの備えとなります。水を入れた日付を記入しておき、定期的に新しいものに入れ替えていくとなおよいでしょう。

(ローリングストック法)

